

リケジイの会は

“皆で勉強すること”を主体として、2019年8月に発足したクラブはどれほどの新しいグループで、その名称は理科系女子の向こうを張った理科系（ではない）ジジイの集まりとし、主に理系の事象を勉強する会とした。皆で統一された見解を導き出す事ではなく、苦手な分野への知識習得に力点を置いて、頭脳の活性化を図る事を目的としている。

◆第1回目は、「リュウグウ探査の意義」を迫すべく、事務局で用意した予習資料で予備知識を付けた上で、2019年9月28日に“JAXA 相模原”を訪問し、施設見学し、説明員さんの講義を受け、質疑応答を重ね、各自新しい発見をする事となった。見学会では「はやぶさ1」の実物大模型があり、糸川先生開発の「ペンシルロケット」の1号機からその子孫の展示が見られ、又はやぶさ1がイトカワから持ち帰った石の破片を見る事が出来た。感想会では各自気が付いたリュウグウ探査の意義を話し合った。『はやぶさ2』は2020年5月現在、リュウグウを離れ、地球に向けて飛び立っており、2020年末にはリュウグウで採取したと思われる資料の入ったカプセルをオーストラリアに投下する予定で、我々は2021年度には再訪問する事を計画している。

◆第2回目は、2020年2月3日、「JAMSTEC 見学会&感想会」とし、横浜は追浜に集合した。ここは“しんかい6500”に代表される海洋開発の機関で、概要のビデオ上映を見て、水深15,600M相当の水圧下での機器類の耐圧試験、無人探査機「うらしま」や「しんかい6500」の実機、模型を見学、深海生物の標本等も見学出来た。JAMSTECでは“レアアースの発見”“鳥島の深海での巨大隕石発見”“生命の起源研究”“海底地震火山研究”等幅広い研究活動が続けている。再訪問の有力候補。『リケジイの会』では今後は“宇宙関連”“海洋探査”に加え、“生命の起源”“ロケット技術”“隕石の謎”“夜空の星”“極地の科学”等の勉強課題に挑戦して行きます。

J A X A



J A M S T E C

